

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 2 月 2 8 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 5 3 4 8 0
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 0 5 3 4 8 0]

出 願 人 富士写真フイルム株式会社
Applicant(s):

Akira YODA Q79994
DEVICE AND METHOD FOR GENERATING A
PRINT, DEVICE AND METHOD FOR DETECTING
INFORMATION, AND PROGRAM FOR....
Filing Date: February 25, 2004
Darryl Mexic 202-293-7060
(1)

2 0 0 3 年 1 0 月 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康



【書類名】 特許願

【整理番号】 P27365J

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G09C 1/00

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 依田 章

【特許出願人】

 【識別番号】 000005201

 【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100073184

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

 【識別番号】 100090468

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 佐久間 剛

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 008969

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9814441

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 印刷物生成方法および装置、情報検出方法および装置並びにプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像に所定の情報を秘匿的に埋め込むことにより情報付与済み画像を取得し、該情報付与済み画像を記録した印刷物を生成する印刷物生成方法において、

前記画像に前記所定の情報が埋め込まれたことを表す付与済み情報を前記印刷物に付与することを特徴とする印刷物生成方法。

【請求項 2】 前記付与済み情報を前記所定の情報の埋め込み方式とは異なる埋め込み方式により前記画像に秘匿的に埋め込むことにより、前記付与済み情報を前記印刷物に付与することを特徴とする請求項 1 記載の印刷物生成方法。

【請求項 3】 請求項 2 記載の印刷物生成方法により生成された前記印刷物を含む任意の印刷物を撮像手段によって撮像することにより得られた撮像画像データの入力を受け付け、

該撮像画像データから前記付与済み情報が検出されるか否かを判定し、

前記付与済み情報が検出された撮像画像データにのみ前記所定の情報の検出のための処理を行うことを特徴とする情報検出方法。

【請求項 4】 前記撮像画像データの幾何学的歪みを補正し、

該幾何学的歪みが補正された撮像画像データに対して前記判定および前記検出のための処理を行うことを特徴とする請求項 3 記載の情報検出方法。

【請求項 5】 前記撮像手段は携帯端末装置に設けられたカメラであること特徴とする請求項 3 または 4 記載の情報検出方法。

【請求項 6】 前記所定の情報は前記画像に対応付けられた音声データの格納場所を表す格納場所情報であり、

該格納場所情報に基づいて前記音声データを取得することを特徴とする請求項 3 から 5 のいずれか 1 項記載の情報検出方法。

【請求項 7】 画像に所定の情報を秘匿的に埋め込むことにより情報付与済み画像を取得し、該情報付与済み画像を記録した印刷物を生成する印刷物生成装

置において、

前記画像に前記所定の情報が埋め込まれたことを表す付与済み情報を前記印刷物に付与する付与手段を備えたことを特徴とする印刷物生成装置。

【請求項 8】 前記付与手段は、前記付与済み情報を前記所定の情報の埋め込み方式とは異なる埋め込み方式により前記画像に秘匿的に埋め込むことにより、前記付与済み情報を前記印刷物に付与する手段であることを特徴とする請求項 7 記載の印刷物生成装置。

【請求項 9】 請求項 2 記載の印刷物生成方法により生成された前記印刷物を含む任意の印刷物を撮像手段によって撮像することにより得られた撮像画像データの入力を受け付ける入力受付手段と、

該撮像画像データから前記付与済み情報が検出されるか否かを判定する判定手段と、

前記付与済み情報が検出された撮像画像データにのみ前記所定の情報の検出のための処理を行う処理手段とを備えたことを特徴とする情報検出装置。

【請求項 1 0】 前記撮像画像データの幾何学的歪みを補正する補正手段をさらに備え、

前記判定手段および前記処理手段は、該補正手段により補正された撮像画像データに対して前記判定および前記検出のための処理を行う手段であることを特徴とする請求項 9 記載の情報検出装置。

【請求項 1 1】 前記撮像手段は携帯端末装置に設けられたカメラであることを特徴とする請求項 9 または 1 0 記載の情報検出装置。

【請求項 1 2】 前記所定の情報は前記画像に対応付けられた音声データの格納場所を表す格納場所情報であり、

該格納場所情報に基づいて前記音声データを取得する音声データ取得手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 9 から 1 1 のいずれか 1 項記載の情報検出装置。

【請求項 1 3】 画像に所定の情報を秘匿的に埋め込むことにより情報付与済み画像を取得し、該情報付与済み画像を記録した印刷物を生成する印刷物生成方法をコンピュータに実行させるためのプログラムにおいて、

前記画像に前記所定の情報が埋め込まれたことを表す付与済み情報を前記印刷物に付与する手順を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 14】 前記付与済み情報を前記印刷物に付与する手順は、前記付与済み情報を前記所定の情報の埋め込み方式とは異なる埋め込み方式により前記画像に秘匿的に埋め込むことにより、前記付与済み情報を前記印刷物に付与する手順であることを特徴とする請求項 13 記載のプログラム。

【請求項 15】 請求項 2 記載の印刷物生成方法により生成された前記印刷物を含む任意の印刷物を撮像手段によって撮像することにより得られた撮像画像データの入力を受け付ける手順と、

該撮像画像データから前記付与済み情報が検出されるか否かを判定する手順と、

前記付与済み情報が検出された撮像画像データにのみ前記所定の情報の検出のための処理を行う手順とを有することを特徴とする情報検出方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 16】 前記撮像画像データの幾何学的歪みを補正する手順をさらに備え、

前記判定する手順および前記所定の情報の検出のための処理を行う手順は、前記補正された撮像画像データに対して前記判定および前記検出のための処理を行う手順であることを特徴とする請求項 15 記載のプログラム。

【請求項 17】 前記撮像手段は携帯端末装置に設けられたカメラであることを特徴とする請求項 15 または 16 記載のプログラム。

【請求項 18】 前記所定の情報は前記画像に対応付けられた音声データの格納場所を表す格納場所情報であり、

該格納場所情報に基づいて前記音声データを取得する手順をさらに有することを特徴とする請求項 15 から 17 のいずれか 1 項記載のプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像に情報を付与して情報が付与された画像を記録した印刷物を生

成する印刷物生成方法および装置、画像に付与された情報を検出する情報検出方法および装置並びに情報検出方法をコンピュータに実行させるためのプログラムに関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

例えばURLのように、電子情報が存在する場所を表す情報をバーコードとして、あるいは電子透かしとして画像データに付与し、これをプリントアウトすることにより画像が記録されたプリント等の印刷物を得、この印刷物をスキャナ等の読取装置により読み取り、さらに読み取って得られた画像データを解析することにより、画像に付与された情報を検出し、電子情報が存在する場所にアクセスして電子情報を取得するようにしたシステムが広く用いられている（特許文献1、特許文献2、非特許文献1等）。

【 0 0 0 3 】

また、画像に電子透かしを2階層に埋め込む方法も提案されている（特許文献3、非特許文献2等）。特許文献3の方法によれば、複数の機関に共通の透かし埋め込み方式により機関を特定するための第1の情報を埋め込むとともに、各機関独自の透かし埋め込み方式により第2の情報を埋め込み、ある機関において画像から共通の透かし抽出方式により第1の情報を抽出してその透かしが埋め込まれた機関を特定し、その特定された機関に画像を転送するようにしたものである。また、非特許文献2の方法は、予め登録された透かしの方式を表す情報を標準的な透かし埋め込み方式により画像に埋め込み、予め登録された透かしの方式により種々の情報を画像に埋め込むようにしたものである。

【 0 0 0 4 】

一方、携帯電話の普及には目覚ましいものがあるが、近年、撮影により画像データを取得するデジタルカメラを有するカメラ付き携帯電話等のカメラ付き携帯端末装置が普及しつつある（例えば特許文献4、5等）。また、PDA等の携帯端末装置においてカメラを内蔵させたカメラ付き携帯端末装置も提案されている（特許文献6、7等）。

【 0 0 0 5 】

このようなカメラ付きの携帯端末装置を用いることにより、撮影により取得した自分の好みの画像データを携帯端末装置の液晶モニタにおいて待ち受け画面に設定できる。また、撮影により取得した画像データを電子メールに添付して友人に送信することができるため、約束をキャンセルせざるを得ないような状況になったとき、あるいは待ち合わせ時刻に遅刻しそうなときに、申し訳なさそうな自分の表情を撮影して友人に送信する等、現在の自分の状況を友人に知らせることができることから、友人とのコミュニケーションをはかるのに便利である。

【 0 0 0 6 】

また、カメラ付き携帯端末装置を用いて上述したように情報が埋め込まれた印刷物を撮影し、上記と同様に電子情報が存在する場所の情報を検出することにより、カメラ付き携帯端末装置からその場所にアクセスして電子情報を取得することができる。

【 0 0 0 7 】**【特許文献 1】**

米国特許第 5, 8 4 1, 9 7 8 号

【 0 0 0 8 】**【特許文献 2】**

特開 2 0 0 0 - 2 3 2 5 7 3 号公報

【 0 0 0 9 】**【特許文献 3】**

特開 2 0 0 0 - 2 8 7 0 6 7 号公報

【 0 0 1 0 】**【特許文献 4】**

特開平 6 - 2 3 3 0 2 0 号公報

【 0 0 1 1 】**【特許文献 5】**

特開 2 0 0 0 - 2 5 3 2 9 0 号公報

【 0 0 1 2 】**【特許文献 6】**

特開平 8 - 1 4 0 0 7 2 号公報

【 0 0 1 3 】

【特許文献 7】

特開平 9 - 6 5 2 6 8 号公報

【 0 0 1 4 】

【非特許文献 1】

Digimarc MediaBridge Home Page, Connect to what you want from the web
(2002年3月5日検索), インターネット<URL:<http://www.digimarc.com/mediabridge/>>

【 0 0 1 5 】

【非特許文献 2】

Content ID Forum (2002年10月28日検索), インターネット<URL:<http://www.cidf.org/japanese/specification.html>>

【 0 0 1 6 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、電子透かしは所定の情報を画像に秘匿的に埋め込むものであるため、透かしが埋め込まれた画像を記録した印刷物を一見しただけでは、その印刷物に記録された画像に透かしが埋め込まれているか否かを判断することはできない。このため、上記特許文献 1, 2 および非特許文献 1 に記載されたシステムにおいては、透かしの有無を知るためには印刷物から透かしを検出するための処理を行う必要があるが、透かしが埋め込まれていない場合には、その処理が無駄になってしまう。とくに、処理を行う装置が複数の端末から送信された印刷物を撮像して得られた画像データを受け付けるサーバに設置されている場合には、処理を行っても無駄な画像データの送信を受け付けてしまうことによりサーバが混雑し、真に透かしが埋め込まれている印刷物から得た撮像画像データから透かしを検出する処理が遅滞してしまう。

【 0 0 1 7 】

また、透かし検出のための処理を行うとその処理のためのサービス料金が発生し、サービス料金は透かし検出の処理を依頼したユーザに課金される。しかしな

がら、透かしが埋め込まれていない場合にも透かしを検出する処理が行われるためユーザには課金されてしまい、その結果、ユーザは無駄な出費を強いられることとなる。

【0018】

本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、透かしが埋め込まれた画像に対してのみ、透かしの検出のための処理を行うことを目的とする。

【0019】

【課題を解決するための手段】

本発明による印刷物生成方法は、画像に所定の情報を秘匿的に埋め込むことにより情報付与済み画像を取得し、該情報付与済み画像を記録した印刷物を生成する印刷物生成方法において、

前記画像に前記所定の情報が埋め込まれたことを表す付与済み情報を前記印刷物に付与することを特徴とするものである。

【0020】

「付与済み情報」は、所定の情報が秘匿的に埋め込まれていることを認識可能であればいかなる情報をも用いることができる。例えば、所定の情報が埋め込まれていることを示す記号、テキスト文書その他、秘匿的に埋め込む電子透かし等を用いることができる。

【0021】

なお、本発明による印刷物生成方法においては、前記付与済み情報を前記所定の情報の埋め込み方式とは異なる埋め込み方式により前記画像に秘匿的に埋め込むことにより、前記付与済み情報を前記印刷物に付与するようにしてもよい。

【0022】

「異なる埋め込み方式」とは、所定の情報を埋め込む埋め込み方式よりも、処理が容易であるとともに、埋め込んだ付与済み情報を容易に検出することができる埋め込み方式を意味する。例えば、付与済み情報は、画像に所定の情報が埋め込まれていることのみが分かればよい情報であるため、所定の情報の埋め込み方式よりも少ない情報量による埋め込み方式や、狭い帯域幅の埋め込み方式を採用することができ、このような埋め込み方式を採用することにより、付与済み情報の検

出も容易となる。

【0023】

本発明による情報検出方法は、本発明の印刷物生成方法により生成された前記印刷物を含む任意の印刷物を撮像手段によって撮像することにより得られた撮像画像データの入力を受け付け、

該撮像画像データから前記付与済み情報が検出されるか否かを判定し、

前記付与済み情報が検出された撮像画像データにのみ前記所定の情報の検出のための処理を行うことを特徴とするものである。

【0024】

「撮像手段」とは、印刷物に記録された画像を表す画像データを取得できるものであれば、デジタルカメラ、スキャナ等あらゆる手段を用いることができる。

【0025】

「所定の情報の検出のための処理」は、結果として所定の情報を検出できる処理であればよく、具体的には、所定の情報を検出する処理のみならず、所定の情報を検出する装置や、この装置を設置したサーバ等に撮像画像データを送信する処理を含む。

【0026】

なお、本発明による情報検出方法においては、前記撮像画像データの幾何学的歪みを補正し、

該幾何学的歪みが補正された撮像画像データに対して前記判定および前記検出のための処理を行うようにしてもよい。

【0027】

また、本発明による情報検出方法においては、前記撮像手段を携帯端末装置に設けられたカメラとしてもよい。

【0028】

また、本発明による情報検出方法においては、前記所定の情報を前記画像に対応付けられた音声データの格納場所を表す格納場所情報とし、

該格納場所情報に基づいて前記音声データを取得するようにしてもよい。

【0029】

本発明による印刷物生成装置は、画像に所定の情報を秘匿的に埋め込むことにより情報付与済み画像を取得し、該情報付与済み画像を記録した印刷物を生成する印刷物生成装置において、

前記画像に前記所定の情報が埋め込まれたことを表す付与済み情報を前記印刷物に付与する付与手段を備えたことを特徴とするものである。

【0030】

なお、本発明による印刷物生成装置においては、前記付与手段を、前記付与済み情報を前記所定の情報の埋め込み方式とは異なる埋め込み方式により前記画像に秘匿的に埋め込むことにより、前記付与済み情報を前記印刷物に付与する手段としてもよい。

【0031】

本発明による情報検出装置は、本発明の印刷物生成方法により生成された前記印刷物を含む任意の印刷物を撮像手段によって撮像することにより得られた撮像画像データの入力を受け付ける入力受付手段と、

該撮像画像データから前記付与済み情報が検出されるか否かを判定する判定手段と、

前記付与済み情報が検出された撮像画像データにのみ前記所定の情報の検出のための処理を行う処理手段とを備えたことを特徴とするものである。

【0032】

なお、本発明による情報検出装置においては、前記撮像画像データの幾何学的歪みを補正する補正手段をさらに備えるものとし、

前記判定手段および前記処理手段を、該補正手段により補正された撮像画像データに対して前記判定および前記検出のための処理を行う手段としてもよい。

【0033】

また、本発明による情報検出装置においては、前記撮像手段を携帯端末装置に設けられたカメラとしてもよい。

【0034】

また、本発明による情報検出装置においては、前記所定の情報を前記画像に対応付けられた音声データの格納場所を表す格納場所情報とし、

該格納場所情報に基づいて前記音声データを取得する音声データ取得手段をさらに備えるものとしてもよい。

【 0 0 3 5 】

なお、本発明による印刷物生成方法および情報検出方法をコンピュータに実行させるためのプログラムとして提供してもよい。

【 0 0 3 6 】

【発明の効果】

本発明の印刷物生成方法および装置によれば、所定の情報が埋め込まれたことを表す付与済み情報が印刷物に付与される。このため、印刷物における付与済み情報の有無に基づくことにより、印刷物に記録された画像に所定の情報が秘匿的に埋め込まれているか否かを容易に判定することができる。

【 0 0 3 7 】

とくに、電子透かしのように付与済み情報を画像に秘匿的に埋め込むことにより付与済み情報を印刷物に付与すれば、印刷物に記録された画像に所定の情報が埋め込まれていることを表す付与済み情報でさえも容易に解読できない態様にて画像に付与することができるため、付与済み情報の秘匿性を保つ上で好ましい。また、所定の情報とは異なる埋め込み方式により付与済み情報を画像に秘匿的に埋め込むことにより、付与済み情報を所定の情報よりも簡易に検出することができる。

【 0 0 3 8 】

本発明の情報検出方法および装置によれば、本発明の情報付与方法により生成された印刷物を含む任意の印刷物が撮像手段によって撮像され、印刷物に記録された情報付与済み画像を表す撮像画像データが取得される。そして、撮像画像データから付与済み情報が検出されるか否かを判定し、付与済み情報が検出された撮像画像データにのみ所定の情報の検出のための処理が施される。ここで、付与済み情報は所定の情報の埋め込み方式とは異なる埋め込み方式により画像に埋め込まれているため、その検出は所定の情報の検出よりも容易である。したがって、所定の情報が埋め込まれているか否かの判定を容易に行って、所定の情報が埋め込まれた印刷物にのみ所定の情報を検出するための処理を施すことができる。

【 0 0 3 9 】

また、所定の情報の検出のための処理は所定の情報が埋め込まれた画像が記録された印刷物に対してのみ施されるため、処理を行う装置が所定の情報が埋め込まれていない画像が記録された印刷物に所定の情報検出のための処理を施すことがなくなり、これにより、処理を行う装置の負担を低減することができる。また、所定の情報の検出のための処理に課金がされる場合であっても、所定の情報が検出される印刷物に対してのみ処理が施されるため、所定の情報の検出処理を依頼したユーザが無駄な出費をすることもなくなる。

【 0 0 4 0 】

また、撮像画像データの幾何学的歪みを補正し、幾何学的歪みを補正した撮像画像データから付与済み情報および所定の情報を検出することにより、撮像画像データが幾何学的歪みを含むものであっても、付与済み情報および所定の情報を歪みのない状態で精度よく検出することができる。

【 0 0 4 1 】

この場合、撮像手段が携帯端末装置に設けられたカメラのように、得られる画像の幾何学歪みが大きい場合には、本発明による補正の効果は非常に大きい。

【 0 0 4 2 】

また、所定の情報が画像に対応付けられた音声データの URL 等の格納場所を表す格納場所情報である場合、この格納場所情報に基づいて音声データの格納場所にアクセスして音声データを取得することにより、音声データを取得したユーザは画像に対応付けられた音声を再生して楽しむことができる。

【 0 0 4 3 】

【発明の実施の形態】

以下図面を参照して本発明の実施形態について説明する。図 1 は本発明の実施形態による情報付与装置を備えた情報付与システムの構成を示す概略ブロック図である。図 1 に示すように、本実施形態による情報付与装置を備えた情報付与システム 1 は、画像データ S 0 のプリントを受け付ける写真店に設置されてなるものであり、画像データ S 0 および画像データ S 0 と関連付ける音声データ M n の入力を受け付ける入力部 1 1 と、画像データ S 0 により表される画像に含まれる

被写体を抽出する被写体抽出部 12 と、画像を被写体毎の領域にブロック化するブロック化処理部 13 と、音声データ M_n の保管場所を表すコード C_n を発生する入力データ処理部 14 と、音声データ M_n 等種々の情報を保管する情報記憶部 15 と、コード C_n を画像データ S_0 に埋め込むとともに、コード C_n が埋め込まれていることを表す付与済み情報 W を埋め込んでコード C_n および付与済み情報 W が埋め込まれた情報付与済み画像データ S_1 を取得する埋め込み処理部 16 と、情報付与済み画像データ S_1 をプリント出力するプリンタ 17 とを備える。

【0044】

なお、本実施形態においては、画像データ S_0 により表される画像を原画像とし、画像データ S_0 と同様に原画像についても参照符号として S_0 を用いるものとする。また、原画像 S_0 には 3 人の人物が含まれており、音声データ M_n は 3 人の人物それぞれの声を表す 3 つの音声データ M_n ($n=1\sim 3$) とする。

【0045】

ここで、音声データ $M_1\sim M_3$ は、画像データ S_0 を取得したユーザ（以下取得ユーザとする）が録音したものである。音声データ $M_1\sim M_3$ は、例えばデジタルカメラにおいて画像データ S_0 の撮像時に録音されて画像データ S_0 とともにメモリカードに記録される。そして、取得ユーザがメモリカードを写真店に持参することにより、音声データ $M_1\sim M_3$ は写真店の情報記憶部 15 に保管される。なお、取得ユーザは、自分が所有するパソコンを用いてインターネット経由で音声データ $M_1\sim M_3$ を情報付与システム 1 に送信してもよい。

【0046】

なお、デジタルビデオカメラにより撮像された動画の 1 フレームをプリントアウトする場合がある。この場合、音声データ $M_1\sim M_3$ としては、動画とともに録音されている音声を表すものを用いることができる。

【0047】

入力部 11 は、画像データ S_0 および音声データ $M_1\sim M_3$ が記録された CD-R、DVD-R、メモリカード等の種々のメディアから画像データ S_0 および音声データ $M_1\sim M_3$ を読み出すメディアドライブ、ネットワーク経由で送信された画像データ S_0 および音声データ $M_1\sim M_3$ の入力を受け付ける通信インタ

ーフェース等、画像データ S 0 および音声データ M 1 ～ M 3 の入力を受け付けることが可能なあらゆる手段を用いることができる。

【 0 0 4 8 】

被写体抽出部 1 2 は、原画像から肌色領域を抽出したり顔の輪郭を抽出することにより、図 2 に示すように、原画像から人物の顔を含む顔領域 F 1 ～ F 3 を抽出する。

【 0 0 4 9 】

ブロック化処理部 1 3 は、被写体抽出部 1 2 が抽出した顔領域 F 1 ～ F 3 を含みかつ各顔領域 F 1 ～ F 3 が他の顔領域と重複しないように、原画像 S 0 にコード C 1 ～ C 3 を埋め込むためのブロック領域 B 1 ～ B 3 を設定する。本実施形態においては、例えば図 3 に示すようにブロック領域 B 1 ～ B 3 を設定する。

【 0 0 5 0 】

なお、本実施形態においては、原画像 S 0 から顔領域を抽出しているが、海、山、花等の特定の被写体を検出し、これを含むように原画像 S 0 にブロック領域を設定してもよい。

【 0 0 5 1 】

また、原画像 S 0 を輝度や色差等の特徴量に基づいて複数の領域に分割することにより、顔等の特定の被写体を抽出することなく、原画像 S 0 にブロック領域を設定してもよい。

【 0 0 5 2 】

入力データ処理部 1 4 は、入力部 1 1 が入力を受け付けた音声データ M 1 ～ M 3 を情報記憶部 1 5 に保管するとともに、音声データ M 1 ～ M 3 のそれぞれに対応したユニークなコード C 1 ～ C 3 を発生する。このコード C 1 ～ C 3 は、音声データ M 1 ～ M 3 の保管場所の U R L を 1 2 8 ビットの情報で表したものである。

【 0 0 5 3 】

情報記憶部 1 5 は、後述するようにパソコンや携帯電話等からアクセスされるサーバに設置されてなるものである。

【 0 0 5 4 】

埋め込み処理部 16 は、コード C 1 ~ C 3 を、原画像 S 0 のブロック領域 B 1 ~ B 3 にそれぞれ電子透かしとして埋め込む。図 4 は、埋め込み処理部 16 が行う電子透かしの埋め込みアルゴリズムを説明するための図である。まず、m 種類（本実施形態においては、コード C 1 ~ C 3 が 128 ビットであるから 128 種類）の疑似ランダムパターン R_i ($i = 1 \sim m$) を生成する。なお、ランダムパターン R_i は実際には 2 次元のパターン $R_i(x, y)$ であるが、ここでは説明のために 1 次元のパターン $R_i(x)$ として表すものとする。そして、音声データ M 1 ~ M 3 の保管場所の URL を 128 ビットの情報で表した場合における i 番目ビットの値を、対応する i 番目のランダムパターン $R_i(x)$ に乗算する。すなわち、音声データ M 1 の保管場所の URL が例えば、1 ビット目から順に 1, 1, 0, 0, ... 1 というコード C 1 により表されている場合、 $R_1(x) \times 1$, $R_2(x) \times 1$, $R_3(x) \times 0$, $R_4(x) \times 0$, ..., $R_i(x) \times (i \text{ 番目ビット値})$, ... $R_m(x) \times 1$ を算出する。さらに、 $R_1(x) \times 1$, $R_2(x) \times 1$, $R_3(x) \times 0$, $R_4(x) \times 0$, ... $R_m(x) \times 1$ の総和 $Sum (= \sum R_i(x) \times (i \text{ 番目ビット値}))$ を算出する。そして算出した Sum を原画像 S 0 におけるブロック領域 B 1 内の画像データ S 0 に加算することにより、コード C 1 を画像データ S 0 に埋め込む。

【0055】

同様に、コード C 2, C 3 についてもコード C 2, C 3 とランダムパターン $R_i(x)$ との乗算値の総和 Sum を算出し、これをブロック領域 B 2, B 3 内の画像データ S 0 に加算することにより、コード C 2, C 3 を画像データ S 0 に埋め込む。

【0056】

また、埋め込み処理部 16 は、コード C 1 ~ C 3 が埋め込まれていることを表す付与済み情報 W を画像データ S 0 に埋め込む。ここで、付与済み情報 W は、画像データ S 0 にコード C 1 ~ C 3 が埋め込まれているか否かを表す情報であるため、1 ビットの情報量で十分である。具体的には、付与済み情報 W を表す 2 次元のパターン $W(x, y)$ を画像データ S 0 に加算することにより付与済み情報 W を画像データ S 0 に埋め込む。ここで、付与済み情報 W は 1 ビットのように情報

量が少ないため、パターン $W(x, y)$ を空間的に低周波なものとすることができる。

【0057】

以上のようにして、コード $C1 \sim C3$ および付与済み情報 W が埋め込まれた画像データを情報付与済み画像データ $S1$ とする。

【0058】

プリンタ17は、コード $C1 \sim C3$ および付与済み情報 W が埋め込まれた情報付与済み画像データ $S1$ をプリント出力してプリント P を得る。

【0059】

次いで、情報の付与時に行われる処理について説明する。図5は情報の付与時に行われる処理を示すフローチャートである。まず、入力部11が画像データ $S0$ および音声データ $M1 \sim M3$ の入力を受け付け（ステップ $S1$ ）、被写体抽出部12が原画像 $S0$ から顔領域 $F1 \sim F3$ を抽出し（ステップ $S2$ ）、さらにブロック化処理部13が顔領域 $F1 \sim F3$ を含むブロック領域 $B1 \sim B3$ を原画像 $S0$ に設定する（ステップ $S3$ ）。

【0060】

一方、入力データ処理部14は音声データ $M1 \sim M3$ を情報記憶部15に保管し（ステップ $S4$ ）、さらに音声データ $M1 \sim M3$ の保管場所のURLを表すコード $C1 \sim C3$ を発生する（ステップ $S5$ ）。なお、ステップ $S4$ およびステップ $S5$ の処理は逆に行ってもよいが、並列に行うことが好ましい。また、ステップ $S2$ および $S3$ の処理と、ステップ $S4$ および $S5$ の処理は逆に行ってもよいが、並列に行うことが好ましい。

【0061】

続いて、埋め込み処理部16がコード $C1 \sim C3$ を原画像 $S0$ のブロック領域 $B1 \sim B3$ にそれぞれ埋め込むとともに、付与済み情報 W を原画像 $S0$ に埋め込み、コード $C1 \sim C3$ および付与済み情報 W が埋め込まれた情報付与済み画像を表す情報付与済み画像データ $S1$ を生成する（ステップ $S6$ ）。そして、プリンタ17が情報付与済み画像データ $S1$ をプリント出力してプリント P を生成し（ステップ $S7$ ）、処理を終了する。

【0062】

次いで、本実施形態による情報検出装置を備えた情報送信システムについて説明する。図6は本発明による情報検出装置を適用した情報送信システムの第1の実施形態の構成を示す概略ブロック図である。図6に示すように、第1の実施形態による情報送信システムは、上記情報付与システム1とともに写真店に設置されてなるものであり、カメラ付き携帯電話3と上記情報付与システム1における情報記憶部15を備えたサーバ4との間で公衆回線5を介してデータのやり取りを行うものである。

【0063】

カメラ付き携帯電話3は、上記情報付与システム1において生成されたプリントPや後述するプリントP'を撮像してプリントP、P'に記録された画像を表す撮像画像データS2を取得する撮像部31と、画像や種々の情報を表示する表示部32と、十字キー等の複数の入力キーからなるキー入力部33と、公衆回線5を介して通話、メールの送受信およびデータの送受信を行う通信部34と、撮像部31において取得された撮像画像データS2をメモリカード等に記憶する記憶部35と、撮像画像データS2の歪みを補正して補正画像データS3を得る歪み補正部36と、補正画像データS3における付与済み情報Wの有無に基づいて撮像したプリントにコードC1～C3が埋め込まれているか否かを判定する第1の情報検出部37Aと、第1の情報検出部37Aが付与済み情報Wを検出した場合にのみ、補正画像データS3からプリントに埋め込まれたコードC1～C3を取得する第2の情報検出部37Bと、音声を出力するスピーカ等の音声出力部38とを備える。

【0064】

撮像部31は、撮影レンズ、シャッタ、撮像デバイス等からなる。なお、撮影レンズは35mmカメラ換算で $f \leq 28\text{mm}$ の広角レンズが使用される。また、撮像デバイスとしては、例えばカラーCMOSセンサやカラーCCDセンサを用いることができる。

【0065】

表示部32は液晶モニタ等からなる。なお、本実施形態においては、撮像画像

データ S 2 を縮小して得られた画像の全体が表示部 3 2 に表示されるようにしてもよいが、撮像画像データ S 2 を縮小することなくそのまま表示部 3 2 に表示してもよい。この場合は、キー入力部 3 3 の十字キーを用いて表示された画像をスクロールすることにより、画像上の全領域を把握することができる。

【0066】

ここで、撮像部 3 1 において撮像されるプリントには、上記情報付与システム 1 により、プリントに含まれる被写体に対応する音声データ M 1 ~ M 3 の保管場所の URL を表すコード C 1 ~ C 3 が電子透かしとして埋め込まれたプリント P のみならず、何ら情報が埋め込まれていないプリント P' も含まれる。

【0067】

撮像部 3 1 においてプリント P を撮像した場合、取得される撮像画像データ S 2 は、情報付与システム 1 において取得された情報付与済み画像データ S 1 に対応したものとなっているはずである。しかしながら、撮像部 3 1 においては撮影レンズとして広角レンズを使用しているため、撮像画像データ S 2 により表される画像は撮像部 3 1 における撮像レンズの幾何学的歪みを含んだものとなっている。したがって、コード C 1 ~ C 3 および付与済み情報 W の検出のために、撮像画像データ S 2 と疑似ランダムパターン $R_i(x, y)$ およびパターン $W(x, y)$ との相関値を算出しても、埋め込まれた疑似ランダムパターン $R_i(x, y)$ およびパターン $W(x, y)$ が歪んでいるため相関値が大きくなり、プリント P に埋め込まれたコード C 1 ~ C 3 を検出することができない。

【0068】

このため、本実施形態においては、歪み補正部 3 6 において、撮像画像データ S 2 により表される画像に含まれる幾何学的歪みを補正して補正画像データ S 3 を取得するようにしたものである。

【0069】

第 1 の情報検出部 3 7 A は、補正画像データ S 3 とパターン $W(x, y)$ との相関値を求め、相関値が予め定められたしきい値以上の場合に、撮像したプリントには付与済み情報 W が埋め込まれており、その結果、コード C 1 ~ C 3 が埋め込まれていると判定する。一方、相関値がしきい値未満の場合には、撮像したプ

プリントにはコードC1～C3が埋め込まれていないと判定し、その旨を表す「コードが埋め込まれていません」等のメッセージを表示部32に表示する。

【0070】

なお、パターンW(x, y)は低周波の情報であるため、撮影レンズの歪みの影響を受けにくい。このため、撮像画像データS2とパターンW(x, y)との相関値を求めて撮像したプリントにコードC1～C3が埋め込まれているか否かを判定し、埋め込まれていると判定された場合にのみ、歪み補正部36により撮像画像データS2を補正するようにしてもよい。

【0071】

第2の情報検出部37Bは、撮像したプリントにコードC1～C3が埋め込まれていると第1の情報検出部37Aが判定した場合に、補正画像データS3と疑似ランダムパターンRi(x, y)との相関値を求め、撮像したプリントに埋め込まれた音声データM1～M3の保管場所のURLを表すコードC1～C3を取得する。

【0072】

具体的には、補正画像データS3と全ての疑似ランダムパターンRi(x, y)との相関値を算出し、相関値が比較的大きい疑似ランダムパターンRi(x, y)については1を、それ以外の疑似ランダムパターンRi(x, y)については0を割り当て、割り当てられた値1, 0を1番目の疑似ランダムパターンRi(x, y)から順に並べることにより、128ビットの情報、すなわち音声データM1～M3の保管場所のURLを検出することができる。

【0073】

サーバ4は、公衆回線5を介してのデータの送受信を行う通信部51と、音声データM1～M3等種々の情報を記憶した上記情報付与システム1に含まれる情報記憶部15と、カメラ付き携帯電話3から送信されたコードC1～C3に基づいて、情報記憶部15を検索してコードC1～C3により表されるURLが指定する音声データM1～M3を取得する情報検索部52とを備える。

【0074】

次いで、情報送信システムの第1の実施形態において行われる処理について説

明する。図7は第1の実施形態において行われる処理を示すフローチャートである。なお、カメラ付き携帯電話3のユーザ（以下受信ユーザとする）には、プリントP、P'が渡されているものとする。まず、受信ユーザの指示により撮像部31がプリントP、P'を撮像し、プリントP、P'の画像を表す撮像画像データS2を取得する（ステップS11）。記憶部35は撮像画像データS2を一旦記憶する（ステップS12）。そして、歪み補正部36が記憶部35から撮像画像データS2を読み出し、撮像画像データS2に含まれる幾何学的歪みを補正して補正画像データS3を取得する（ステップS13）。

【0075】

そして、第1の情報検出部37Aが補正画像データS3から付与済み情報Wが検出されるか否かを判定する（ステップS14）。ステップS14が否定されると、表示部32に例えば「コードが埋め込まれていません」等のメッセージを表示し（ステップS15）、処理を終了する。

【0076】

ステップS15が肯定されると、第2の情報検出部37Bが、補正画像データS3に埋め込まれている音声データM1～M3の保管場所のURLを表すコードC1～C3を検出する（ステップS16）。コードC1～C3を検出すると、通信部34が公衆回線5を介してコードC1～C3をサーバ4に送信する（ステップS17）。

【0077】

サーバ4の通信部51はコードC1～C3を受信し（ステップS18）、情報検索部52がコードC1～C3により表されるURLに基づいて情報記憶部15から音声データM1～M3を検索し（ステップS19）、通信部51が検索した音声データM1～M3を公衆回線5を介してカメラ付き携帯電話3に送信する（ステップS20）。

【0078】

カメラ付き携帯電話3の通信部34は音声データM1～M3を受信し（ステップS21）、音声出力部38が音声データM1～M3を再生し（ステップS22）、処理を終了する。

【0079】

ここで、送信される音声データM1～M3はプリントPに含まれる3人の人物の声であるため、受信ユーザは、カメラ付き携帯電話3の表示部32に表示された画像とともに、その画像に含まれる人物の声を聞くことができる。

【0080】

このように、本実施形態においては、原画像S0に含まれる被写体毎に音声データM1～M3の保管場所のURLを表すコードC1～C3を埋め込むとともに、コードC1～C3が埋め込まれていることを表す付与済み情報Wを埋め込み、コードC1～C3および付与済み情報Wが埋め込まれた情報付与済み画像データS1をプリントするようにしたものである。そして、このようにして得られたプリントPまたは何ら情報が埋め込まれていないプリントP'をカメラ付き携帯電話3の撮像部31により撮像して撮像画像データS2を得、さらにこれを補正することにより得られた補正画像データS3に付与済み情報Wが埋め込まれているか否かを判定し、付与済み情報Wが埋め込まれている場合にのみ補正画像データS3からコードC1～C3を取得するようにしたものである。

【0081】

ここで、付与済み情報WはプリントPにコードC1～C3が埋め込まれているか否かのみを表す情報であり、情報の付与および検出を容易に行うことができるため、付与済み情報Wの検出は、コードC1～C3の検出よりも少ない演算にて行うことができる。したがって、カメラ付き携帯電話3は、負担の少ない処理により、プリントP、P'にコードC1～C3が埋め込まれているか否かを判断でき、さらに、付与済み情報Wが検出された場合にのみ、コードC1～C3を検出する処理を行えばよいこととなる。したがって、コードC1～C3が埋め込まれていないプリントP'を撮像して得られた撮像画像データS2に対しては、演算量の多いコードC1～C3を検出する処理を行う必要がなくなり、これにより、カメラ付き携帯電話3において行われる処理の負担を軽減することができる。

【0082】

また、撮像部31の撮影レンズの幾何学的歪みを補正しているため、撮像部31がそれほど高性能のものではなく、得られた撮像画像データS2が撮像部31

の撮影レンズに起因する幾何学的歪みを含むものであっても、補正画像データ S3 により表される補正画像においては、プリント P に記録された画像に埋め込まれたコード C1～C3 および付与済み情報 W が歪みのない状態で埋め込まれていることとなる。したがって、埋め込まれたコード C1～C3 および付与済み情報 W を精度よく検出することができる。

【0083】

また、上記第 1 の実施形態においては、プリント P には 3 人の人物が含まれているため、撮像画像データ S2 により表される画像から各人物の顔領域を抽出し、各人物の顔を受信ユーザに選択させるようにしてもよい。具体的には、各人物の顔画像を表示部 3 に切り替え表示する、各人物の顔画像を並べて表示する、各人物の顔画像に番号を付与して番号を表示して選択させる等により、各人物の顔画像を選択させることができる。顔画像の選択後は、受信ユーザが選択した顔画像からコードを検出し、検出したコードをサーバ 4 に送信して、選択した人物に対応する音声データのみを情報記憶部 15 から検索してカメラ付き携帯電話 3 に送信すればよい。

【0084】

次いで、本発明の情報検出装置の第 2 の実施形態について説明する。図 8 は本発明の情報検出装置を適用した情報送信システムの第 2 の実施形態の構成を示す概略ブロック図である。なお、第 2 の実施形態において、第 1 の実施形態と同一の構成については同一の参照番号を付し、詳細な説明は省略する。第 2 の実施形態においては、カメラ付き携帯電話 3 において取得された撮像画像データ S2 から付与済み情報 W を検出できた場合にのみ撮像画像データ S2 をサーバ 4 に送信し、サーバ 4 においてコード C1～C3 を検出するようにした点が第 1 の実施形態と異なる。このため、第 2 の実施形態においては、カメラ付き携帯電話 3 が第 1 の情報検出部 37A のみを有し、サーバ 4 が第 1 の実施形態における歪み補正部 36 および第 2 の情報検出部 37B に対応する歪み補正部 54 および情報検出部 55 を備える。

【0085】

なお、第 2 の実施形態においては、歪み補正部 54 は、カメラ付き携帯電話 3

の機種に応じた歪み特性情報を記憶したメモリ 54 A を備える。このメモリ 54 A には、カメラ付き携帯電話 3 の機種情報と歪み特性情報とが対応付けられて記憶されている。そして、カメラ付き携帯電話 3 から送信された機種情報に基づいて、対応する機種の歪み特性情報を読み出して撮像画像データ S 2 の補正を行うものである。なお、カメラ付き携帯電話 3 においては、機種に応じて特有の電話番号が割り当てられている。このため、電話番号と機種情報とを対応付けた情報をもメモリ 54 A に記憶しておき、カメラ付き携帯電話 3 から電話番号を送信することにより、歪み特性情報を読み出すようにしてもよい。

【0086】

ここで、付与済み情報 W のパターン W (x, y) は低周波の情報であるため、撮影レンズの歪みの影響を受けにくい。このため、撮像画像データ S 2 とパターン W (x, y) との相関値を求めることにより、撮像したプリントにコード C 1 ~ C 3 が埋め込まれているか否かを判定することができるものである。

【0087】

次いで、第 2 の実施形態において行われる処理について説明する。図 9 は第 2 の実施形態において行われる処理を示すフローチャートである。なお、受信ユーザには、プリント P, P' が渡されているものとする。まず、受信ユーザの指示により、撮像部 31 がプリント P, P' を撮像し、プリント P, P' の画像を表す撮像画像データ S 2 を取得する（ステップ S 31）。記憶部 35 は撮像画像データ S 2 を一旦記憶する（ステップ S 32）。

【0088】

そして、第 1 の情報検出部 37 A が撮像画像データ S 2 から付与済み情報 W が検出されるか否かを判定する（ステップ S 33）。ステップ S 33 が否定されると、表示部 32 に例えば「コードが埋め込まれていません」等のメッセージを表示し（ステップ S 34）、処理を終了する。

【0089】

ステップ S 34 が肯定されると、通信部 34 が記憶部 35 から撮像画像データ S 2 を読み出し、公衆回線 5 を介して撮像画像データ S 2 をサーバ 4 に送信する（ステップ S 35）。

【0090】

サーバ4の通信部51は撮像画像データS2を受信し（ステップS36）、歪み補正部54が撮像画像データS2に含まれる幾何学的歪みを補正して補正画像データS3を取得する（ステップS37）。そして、情報検出部55が、補正画像データS3に埋め込まれている音声データM1～M3の保管場所のURLを表すコードC1～C3を検出する（ステップS38）。コードC1～C3を検出すると、情報検索部52がコードC1～C3により表されるURLに基づいて情報記憶部15から音声データM1～M3を検索し（ステップS39）、通信部51が、検索した音声データM1～M3を公衆回線5を介してカメラ付き携帯電話3に送信する（ステップS40）。

【0091】

カメラ付き携帯電話3の通信部34は音声データM1～M3を受信し（ステップS41）、音声出力部38が音声データM1～M3を再生し（ステップS42）、処理を終了する。

【0092】

このように、第2の実施形態においては、撮像したプリントにコードC1～C3が埋め込まれている場合にのみ、撮像画像データS2をサーバ4に送信するようにしたため、サーバ4はコードC1～C3が埋め込まれていない撮像画像データS2に対して歪み補正や情報検出のための処理を行う必要がなくなり、これにより、サーバの無用な混雑を防止することができる。また、受信ユーザは、無駄な撮像画像データS2をサーバ4に送信することがなくなるため、通信費およびサーバ4において発生するコードC1～C3の検出のための費用を節約することができる。

【0093】

また、第2の実施形態においては、サーバ4においてコードC1～C3を検出しているため、カメラ付き携帯電話3においてはコードC1～C3を検出するための処理を行う必要がなく、その結果、第1の実施形態と比較してカメラ付き携帯電話3の処理の負担を軽減することができる。また、カメラ付き携帯電話3に歪み補正部および第2の情報検出部を設ける必要がなくなるため、第1の実施形

態と比較して、カメラ付き携帯電話 3 のコストを低減することができるとともに、カメラ付き携帯電話 3 の消費電力を低減することができる。

【0094】

さらに、コード C1～C3 を埋め込むアルゴリズムは日々更新されるが、サーバ 4 に情報検出部 55 を設けることにより、アルゴリズムの頻繁な更新にも対応することができる。

【0095】

また、上記第 2 の実施形態において、プリント P には 3 人の人物が含まれているため、撮像画像データ S2 により表される画像から各人物の顔領域を抽出し、撮像画像データ S2 に代えて各人物の顔を表す顔画像データをサーバ 4 に送信するようにしてもよい。具体的には、各人物の顔画像を表示部 3 に切り替え表示する、各人物の顔画像を並べて表示する、各人物の顔画像に番号を付与して番号を表示して選択させる等により、各人物の顔を選択させ、撮像画像データ S2 から選択させた顔に対応する画像データを顔画像データとして抽出し、抽出した顔画像データをサーバ 4 に送信する。サーバ 4 は、選択した人物に対応する音声データのみを情報記憶部 15 から検索してカメラ付き携帯電話 3 に送信すればよい。

【0096】

これにより、撮像画像データ S2 を送信する場合と比較して、カメラ付き携帯電話 3 からサーバ 4 に送信するデータのデータ量を少なくすることができる。また、サーバ 4 において埋め込まれたコードを検出するための演算時間を短縮することができる、これにより、音声データを迅速に受信ユーザに送信することができる。

【0097】

ところで、携帯電話を用いてインターネットにアクセスしたり、電子メールの送受信を行うために、携帯電話会社はウェブサーバやメールサーバにアクセスするための中継サーバを提供しており、携帯電話からは中継サーバを介してウェブサイトにアクセスしたり、電子メールの送受信を行っている。このため、ウェブサーバに音声データ M1～M3 を保管しておき、中継サーバに本発明による情報検出装置を設けるようにしてもよい。以下、これを第 3 の実施形態として説明す

る。

【0098】

図10は、本発明の情報検出装置を適用した情報送信システムの第3の実施形態である携帯電話中継システムの構成を示す概略ブロック図である。なお、第3の実施形態において、第1の実施形態と同一の構成については同一の参照番号を付し、詳細な説明は省略する。

【0099】

図10に示すように、情報送信システムの第3の実施形態である携帯電話中継システムは、カメラ付き携帯電話3と、中継サーバ6と、ウェブサーバやメールサーバ等からなるサーバ群7との間で公衆回線5およびネットワーク8を介してデータのやり取りを行うものである。

【0100】

なお、第3の実施形態においては、カメラ付き携帯電話3は第1の実施形態による情報送信システムに用いられているカメラ付き携帯電話3における撮像部31、表示部32、キー入力部33、通信部34、記憶部35および音声出力部38のみを有し、第1および第2の情報検出部37A、37Bは有さない。

【0101】

中継サーバ6は、カメラ付き携帯電話3およびサーバ群7を中継する中継システム61と、第2の実施形態の歪み補正部54に対応する歪み補正部62と、第1の実施形態の第1および第2の情報検出部37A、37Bに対応する第1および第2の情報検出部63A、63Bと、カメラ付き携帯電話3の通信料金を管理する課金システム64とを備える。なお、歪み補正部62は、第2の実施形態のメモリ54Aに対応する、カメラ付き携帯電話3の機種に応じた歪み特性情報を記憶したメモリ62Aを備えている。

【0102】

なお、第3の実施形態においては、第2の情報検出部63Bは、補正画像データS3から付与済み情報Wが検出された場合に、補正画像データS3からコードC1～C3を検出するとともに、コードC1～C3に対応するURLを中継システム61に入力する機能を有する。

【0103】

中継システム61は、第2の情報検出部63BからURLが入力されるとそのURLに対応するウェブサーバ(7Aとする)にアクセスして、そこに保管されている音声データM1～M3を読み出し、カメラ付き携帯電話3に送信する。

【0104】

なお、第1の情報検出部63Aにおいて、補正画像データS3から付与済み情報Wが検出できない場合には、第1の情報検出部63Aからその旨が中継システム61に入力される。中継システム61はその旨を記述した電子メールをカメラ付き携帯電話3に送信して、カメラ付き携帯電話3から送信された撮像画像データS2には、コードC1～C3が付与されていなかったことをカメラ付き携帯電話3のユーザに通知する。

【0105】

課金システム64は、カメラ付き携帯電話3の通信料金の管理を行う。本実施形態においては、撮像したプリントにコードC1～C3が埋め込まれており、中継システム61が音声データM1～M3を取得するためにウェブサーバ7Aにアクセスした段階において課金システム64が課金を開始し、撮像したプリントにコードC1～C3が埋め込まれていない場合には、中継システム61はサーバ群7のいずれにもアクセスしないため、課金はされないこととなる。

【0106】

次いで、第3の実施形態において行われる処理について説明する。図11は第3の実施形態において行われる処理を示すフローチャートである。なお、受信ユーザには、プリントP、P'が渡されているものとする。まず、受信ユーザの指示により、撮像部31がプリントP、P'を撮像し、プリントP、P'の画像を表す撮像画像データS2を取得する(ステップS51)。記憶部35は撮像画像データS2を一旦記憶する(ステップS52)。そして、通信部34が記憶部35から撮像画像データS2を読み出し、公衆回線5を介して撮像画像データS2を中継サーバ6に送信する(ステップS53)。

【0107】

中継サーバ6の中継システム61は撮像画像データS2を受信し(ステップS

54)、歪み補正部62が撮像画像データS2に含まれる幾何学的歪みを補正して補正画像データS3を取得する(ステップS55)。そして、第1の情報検出部63Aが、補正画像データS3から付与済み情報Wが検出されるか否かを判定する(ステップS56)。

【0108】

ステップS56が肯定されると、情報検出部63が、補正画像データS3からコードC1～C3を検出して、さらにコードC1～C3からURLを生成して中継システム61に入力する(ステップS57)。中継システム61はURLに基づいてウェブサーバ7Aにネットワーク8を介してアクセスする(ステップS58)。

【0109】

ウェブサーバ7Aは音声データM1～M3を検索し(ステップS59)、検索した音声データM1～M3をネットワーク8を介して中継システム61に送信する(ステップS60)。中継システム61は音声データM1～M3を中継してカメラ付き携帯電話3に送信する(ステップS61)。

【0110】

カメラ付き携帯電話3の通信部34は音声データM1～M3を受信し(ステップS62)、音声出力部38が音声データM1～M3を再生し(ステップS63)、処理を終了する。

【0111】

一方、ステップS56が否定されると、撮像したプリントにコードC1～C3が埋め込まれていない旨を記述した電子メールを中継システム61がカメラ付き携帯電話3に送信し(ステップS64)、処理を終了する。

【0112】

ここで、第3の実施形態においては、中継サーバ6に第1および第2の情報検出部63A、63Bを設けているが、カメラ付き携帯電話3に第1の情報検出部37Aのみを、中継サーバ6に第2の情報検出部63Bのみを設けるようにしてもよい。これにより、中継サーバ6はコードC1～C3が埋め込まれていないプリントP'から得られた撮像画像データS2に対して歪み補正や情報検出のため

の処理を行う必要がなくなり、これにより、中継サーバ6の無用な混雑を防止することができる。また、受信ユーザは、無駄な撮像画像データS2を中継サーバ6に送信することがなくなるため、通信費および中継サーバ6において発生するコードC1～C3の検出のための費用を節約することができる。

【0113】

なお、上記第1から第3の実施形態においては、音声データM1～M3の保管場所のURLを電子透かしとして埋め込んでいるが、プリントPに含まれる人物の電話番号を埋め込んでもよい。この場合、プリントPに含まれる人物は自分の電話番号を他人に知られることなく密かにカメラ付き携帯電話3のユーザに伝えることができる。一方、カメラ付き携帯電話3のユーザは、カメラ付き携帯電話3においてプリントPを撮影することにより得られた撮像画像データS2からプリントPに含まれる人物の電話番号を得ることができ、これによりカメラ付き携帯電話3のユーザはプリントPに含まれる人物に電話をかけることができる。

【0114】

また、上記第1から第3の実施形態においては、撮像画像データS2を補正することにより得られた補正画像データS3からコードC1～C3を検出しているが、撮像部31の撮像レンズが高性能であって幾何学的歪みを含まなかったり含んでいてもごく僅かなものである場合がある。このような場合には、撮像画像データS2を補正することなく、撮像画像データS2からコードC1～C3を検出することができる。

【0115】

また、上記第1から第3の実施形態においては、カメラ付き携帯電話3においてプリントPを撮像して、カメラ付き携帯電話3に音声データM1～M3を送信しているが、パソコンに接続されたカメラ、スキャナ等によりプリントPから画像を読み取って撮像画像データS2を得、パソコンに音声データM1～M3を送信して再生するようにしてもよい。

【0116】

また、上記第1から第3の実施形態においては、コードC1～C3が埋め込まれたことを表す付与済み情報WをプリントPに埋め込んでいるが、プリントPに

図 12 に示すようにコード C1～C3 が埋め込まれていることを示す☆印等の記号 K をプリントするようにしてもよい。なお、記号 K は図 12 に示すように画像に影響を与えないプリントの周辺部にプリントすることが好ましいが、プリント P の裏にプリントしてもよい。なお、プリント P の裏であれば例えば「この写真には音声がリンクされています。」のようなテキストをプリントしてもよい。

【0117】

これにより、受信ユーザはプリント P を見るのみで、撮像するプリントにコード C1～C3 が埋め込まれているか否かを判断できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施形態による情報付与装置を備えた情報付与システムの構成を示す概略ブロック図

【図 2】

顔領域の抽出を説明するための図

【図 3】

ブロック領域の設定を説明するための図

【図 4】

電子透かしの埋め込みアルゴリズムを説明するための図

【図 5】

情報の付与時に行われる処理を示すフローチャート

【図 6】

情報送信システムの第 1 の実施形態の構成を示す概略ブロック図

【図 7】

第 1 の実施形態において行われる処理を示すフローチャート

【図 8】

情報送信システムの第 2 の実施形態の構成を示す概略ブロック図

【図 9】

第 2 の実施形態において行われる処理を示すフローチャート

【図 10】

情報送信システムの第 3 の実施形態である携帯電話中継システムの構成を示す概略ブロック図

【図 1 1】

第 3 の実施形態において行われる処理を示すフローチャート

【図 1 2】

記号がプリントされた状態を示す図

【符号の説明】

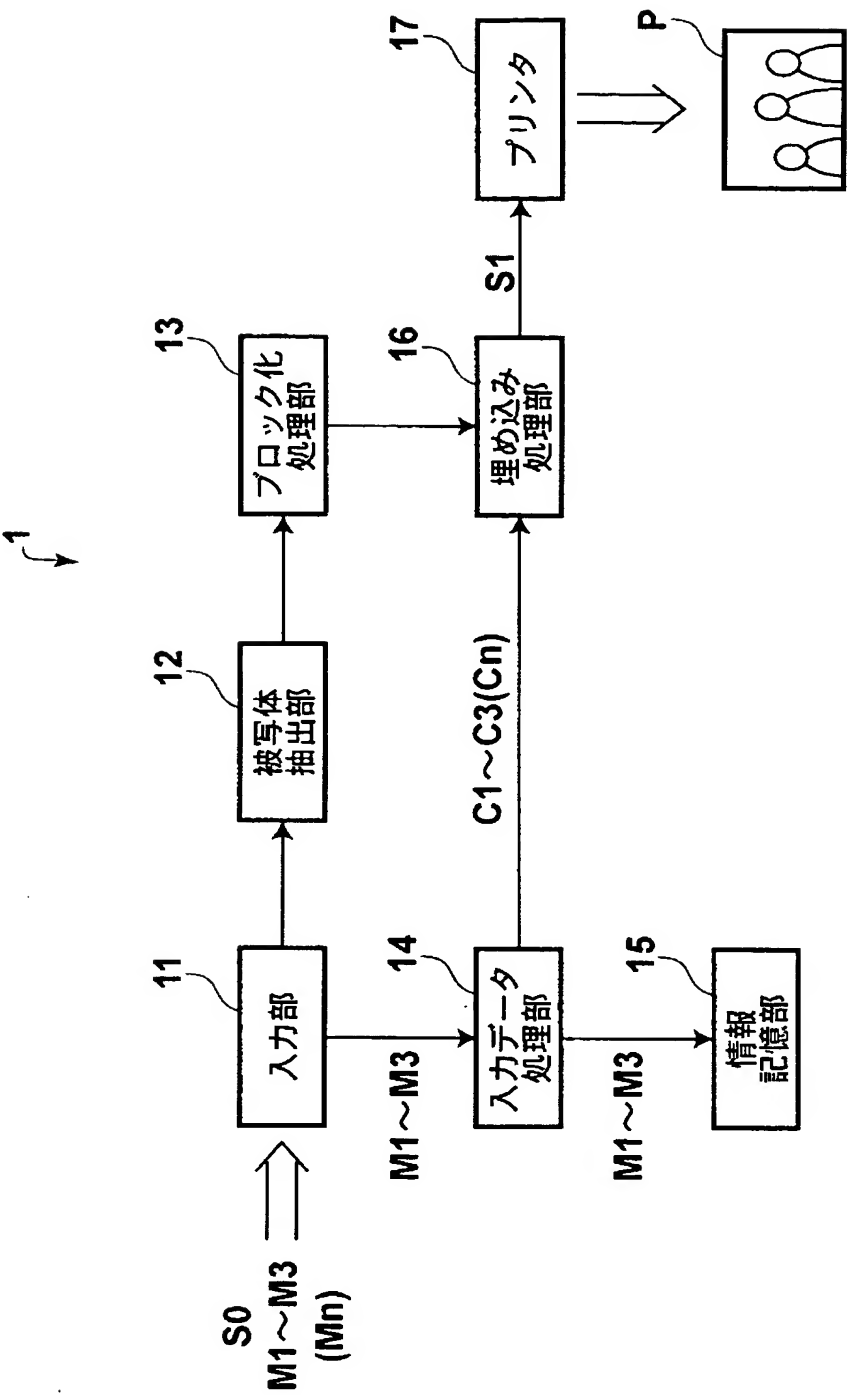
- 1 情報付与システム
- 3 カメラ付き携帯電話
- 4 サーバ
- 5 公衆回線
- 6 中継サーバ
- 7 サーバ群
- 8 ネットワーク
- 1 1 入力部
- 1 2 被写体抽出部
- 1 3 ブロック化処理部
- 1 4 入力データ処理部
- 1 5 情報記憶部
- 1 6 埋め込み処理部
- 1 7 プリンタ
- 3 1 撮像部
- 3 2 表示部
- 3 3 キー入力部
- 3 4, 5 1 通信部
- 3 5 記憶部
- 3 6, 5 4, 6 2 歪み補正部
- 3 7 A, 3 7 B, 5 5, 6 3 A, 6 3 B 情報検出部
- 3 8 音声出力部

- 5 2 情報検索部
- 6 1 中継システム
- 6 4 課金システム

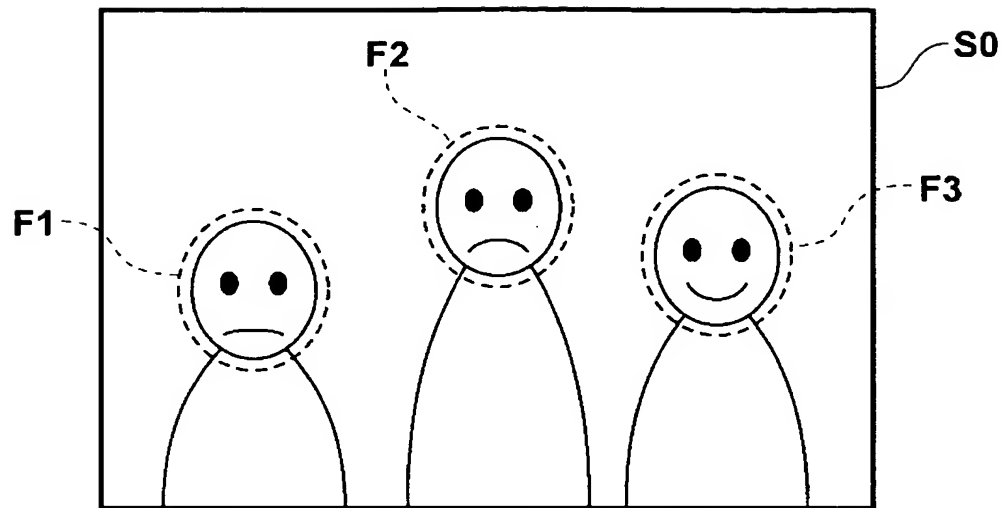
【書類名】

図面

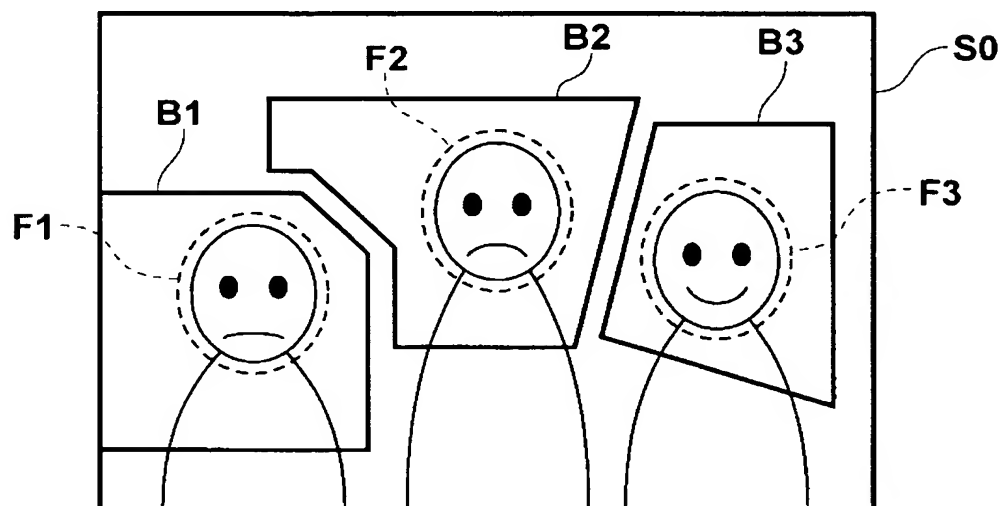
【図 1】



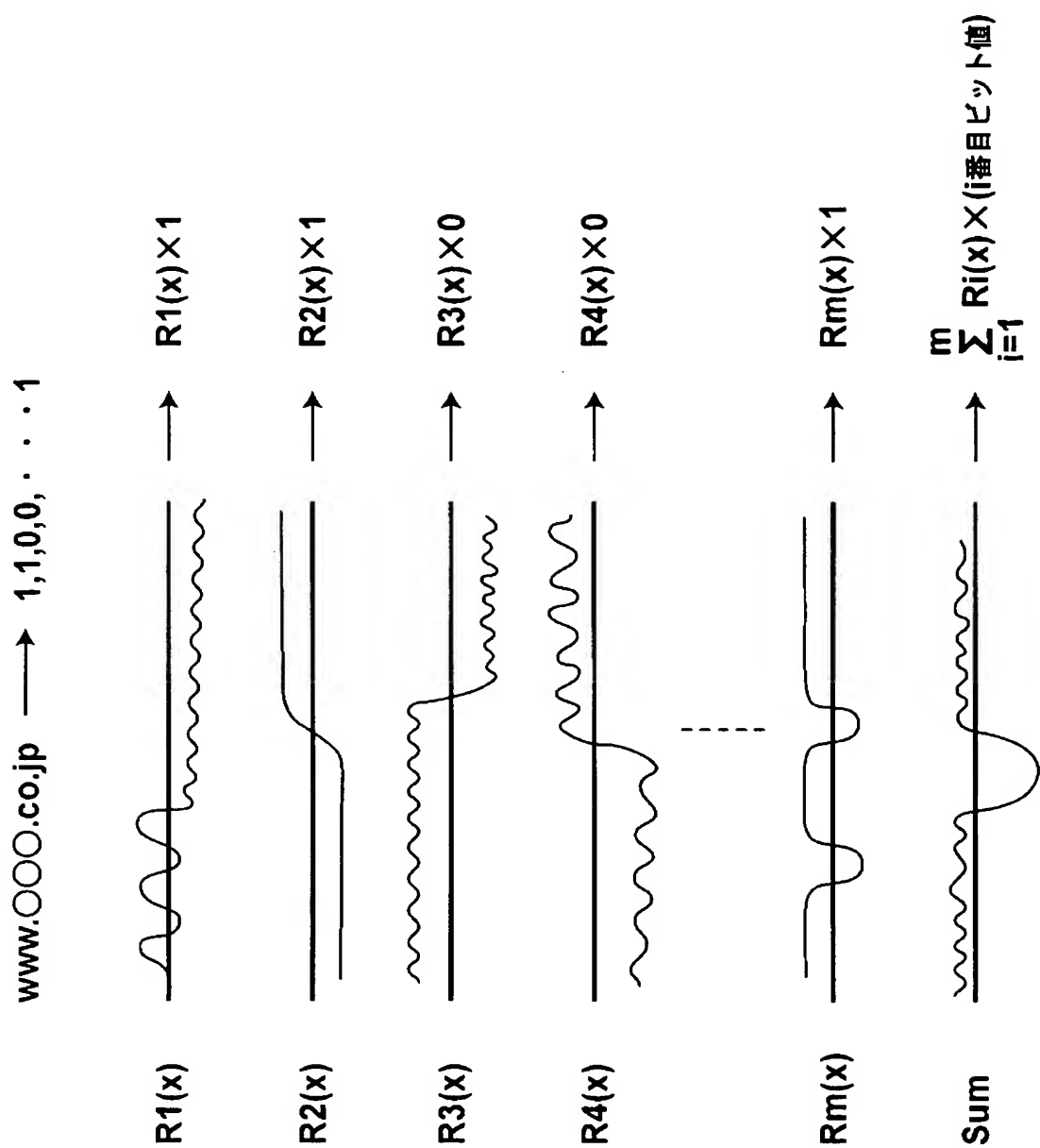
【図 2】



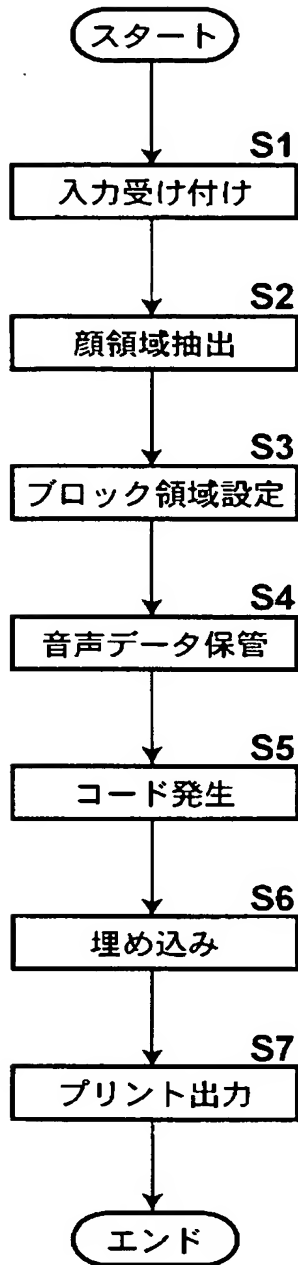
【図 3】



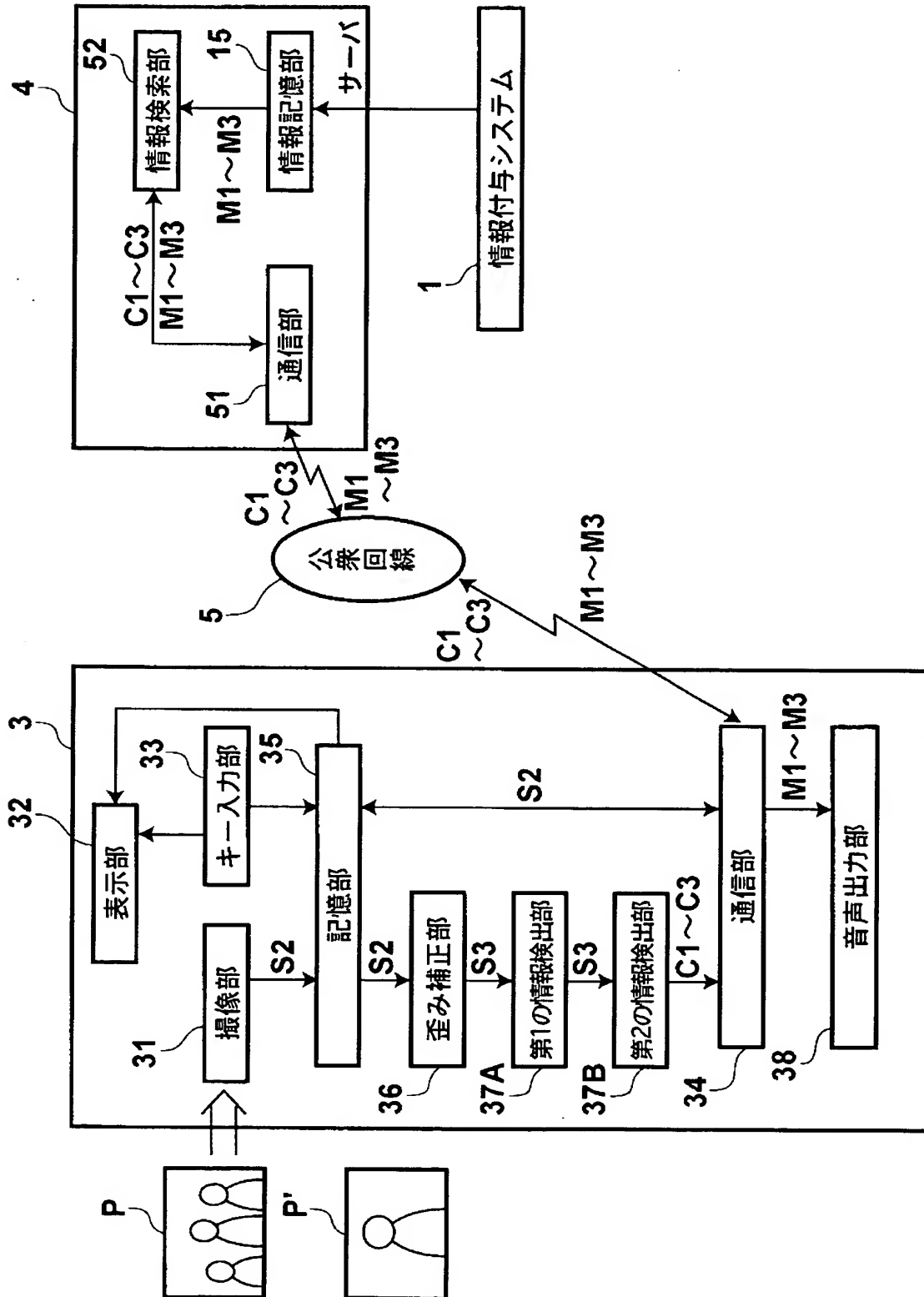
【図 4】



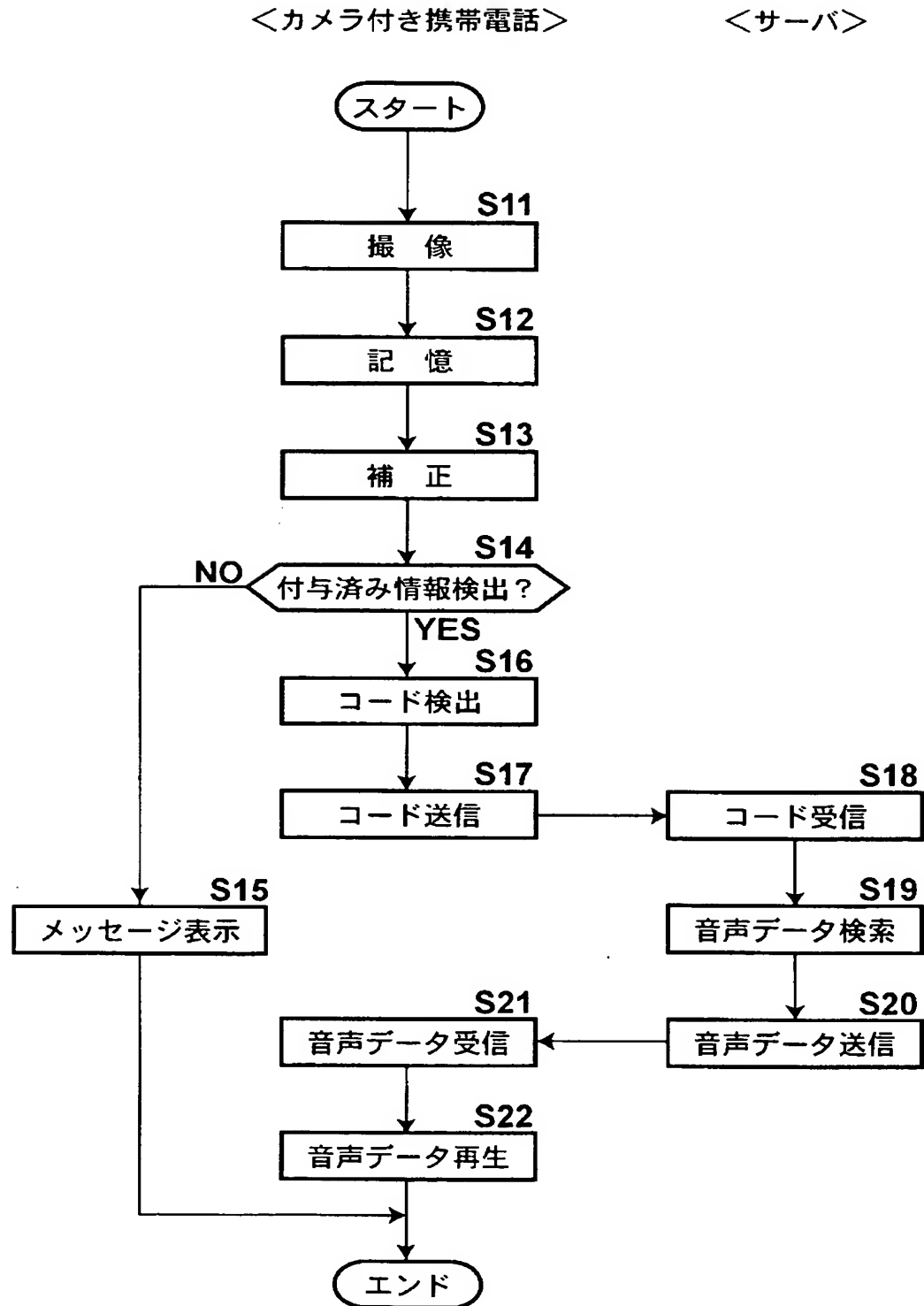
【図 5】



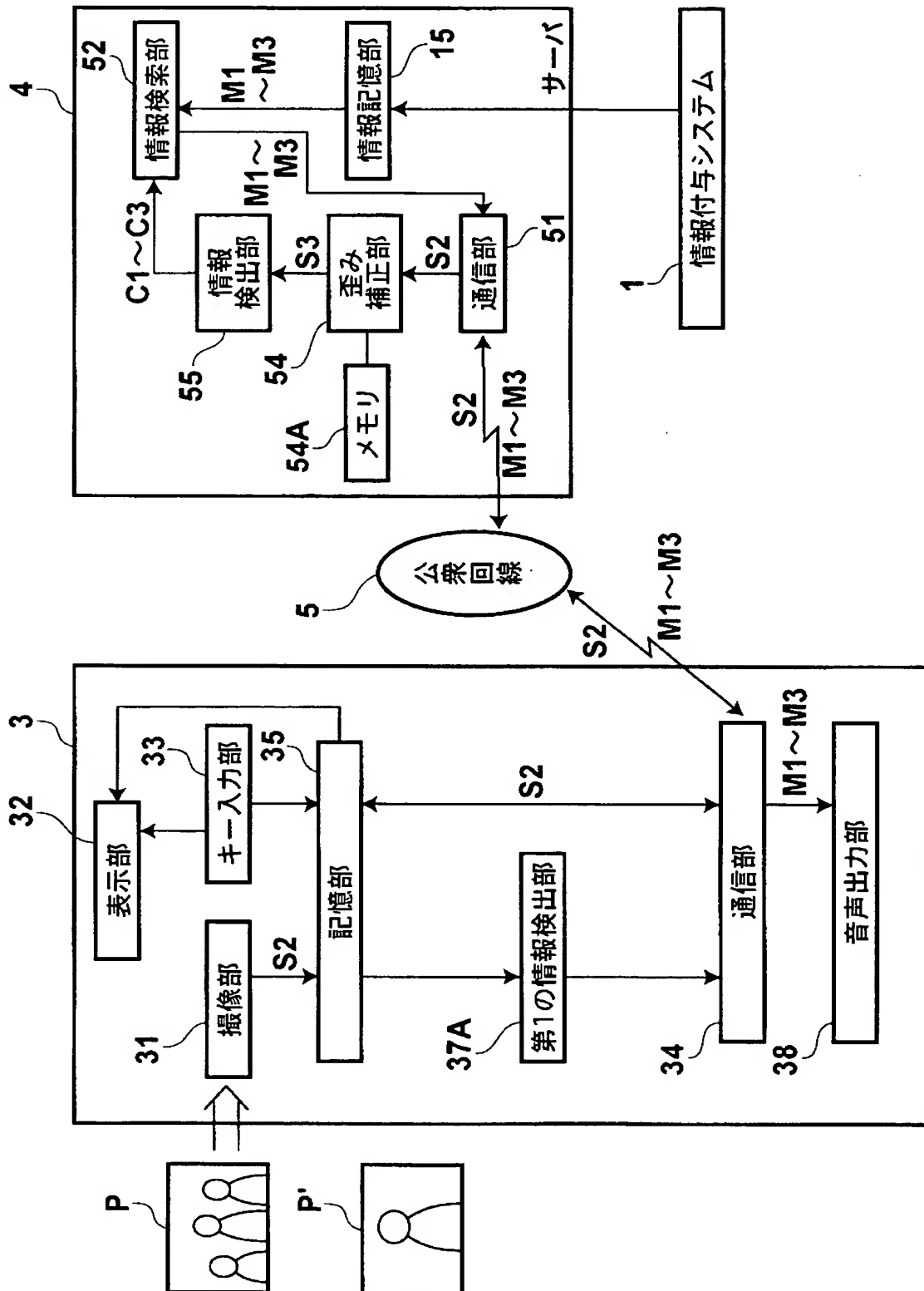
【図 6】



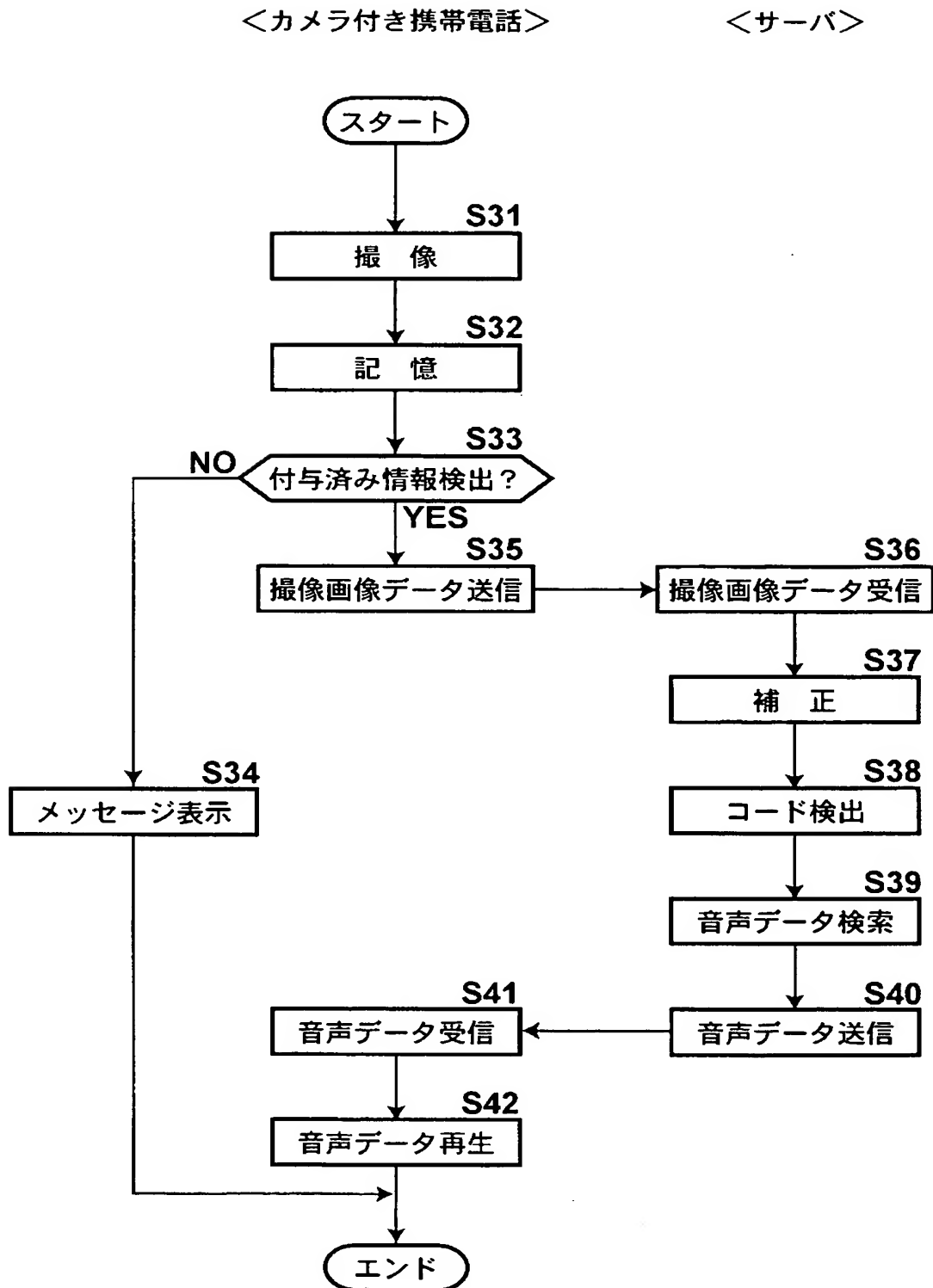
【図 7】



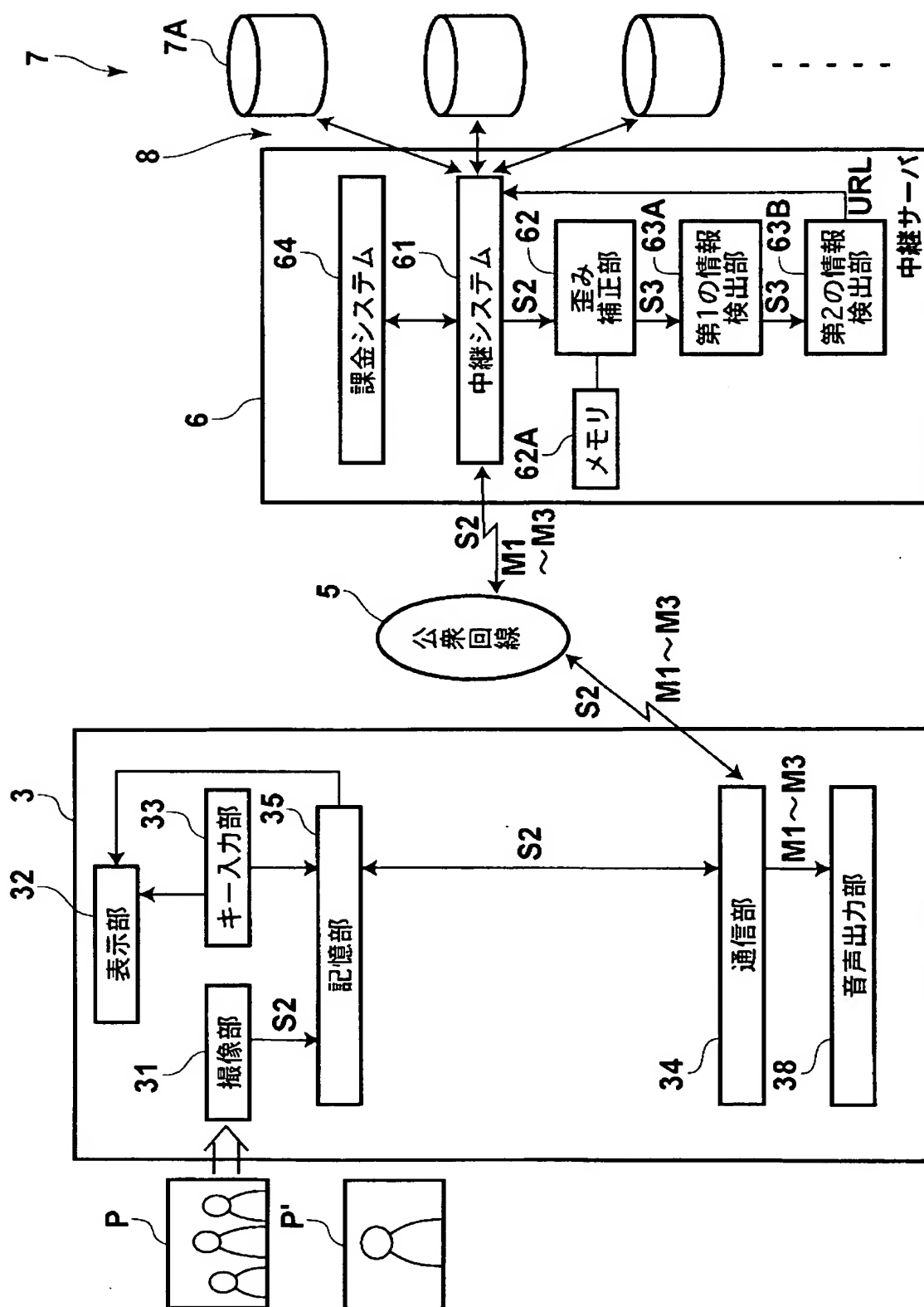
【図 8】



【図 9】



【図10】

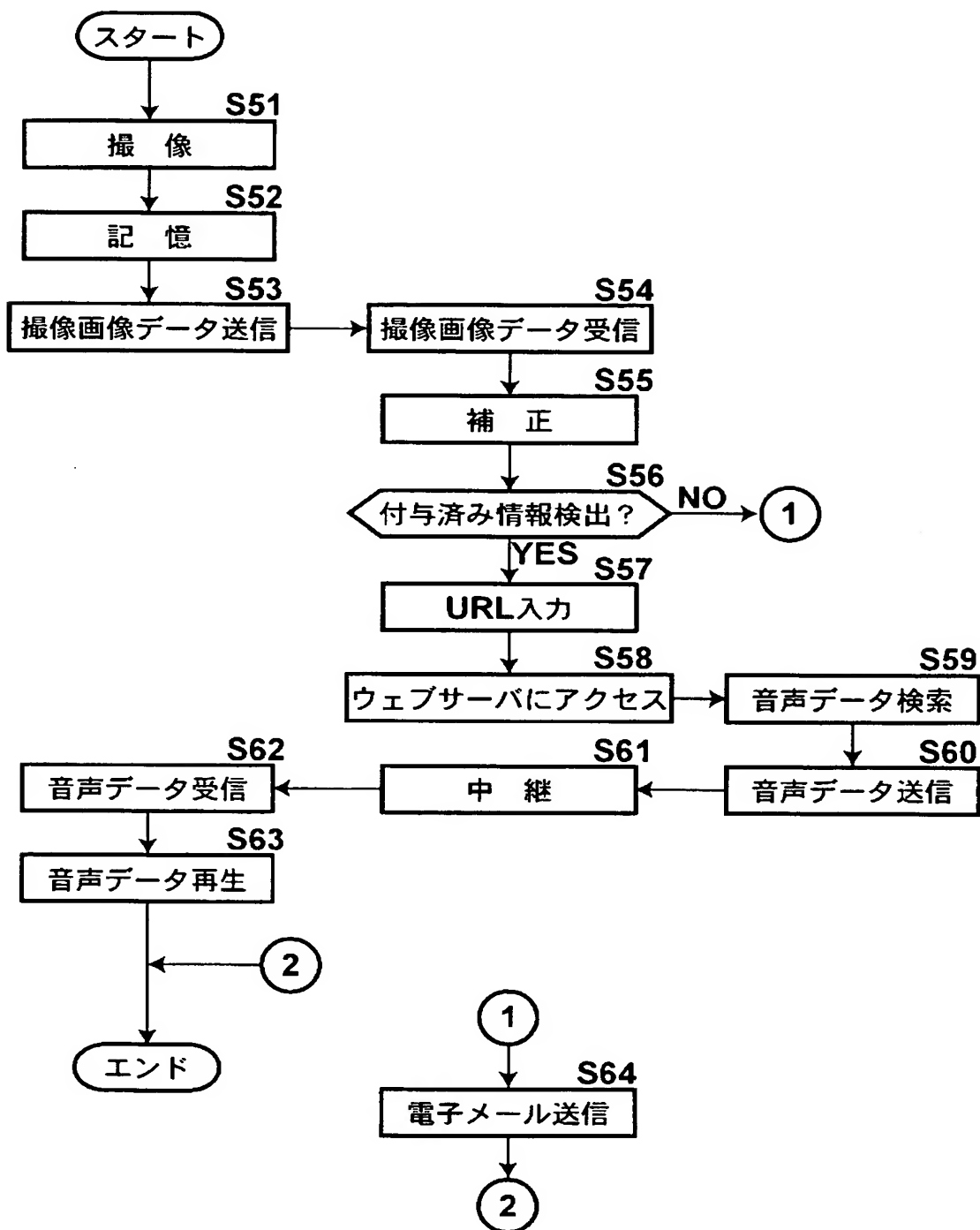


【図 11】

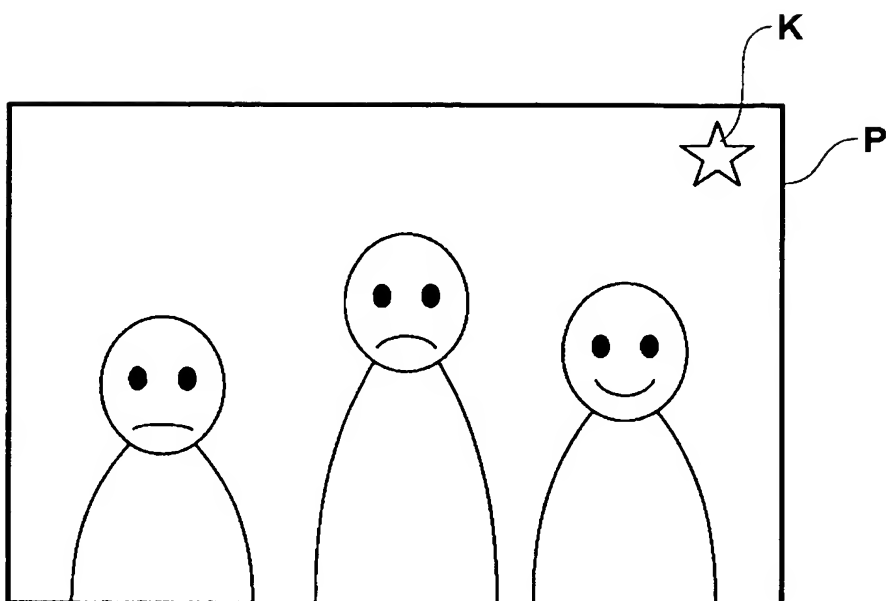
<カメラ付き携帯電話>

<中継サーバ>

<ウェブサーバ>



【図 12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電子透かしが埋め込まれた画像に対してのみ、電子透かし検出のための処理を行う。

【解決手段】 3人の人物を含む原画像S0の各人物の顔領域に対応する部分に、各人物の声を表す音声データM1～M3の保管場所のURLを表すコードC1～C3を埋め込む。さらに、コードC1～C3が埋め込まれていることを表す付与済み情報Wを原画像S0に埋め込む。コードC1～C3および付与済み情報Wが埋め込まれた画像を記録したプリントPをカメラ付き携帯電話3の撮像部31により撮像して撮像画像データS2を得、像の歪みを補正して補正画像データS3を得る。補正画像データS3から付与済み情報Wが検出可能か否かを判定し、検出可能である場合にのみ、コードC1～C3を検出する処理を行う。

【選択図】 図1



認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 0 5 3 4 8 0
受付番号	5 0 3 0 0 3 3 3 1 1
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 5 年 3 月 3 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成15年 2月28日
【特許出願人】	
【識別番号】	000005201
【住所又は居所】	神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地
【氏名又は名称】	富士写真フイルム株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100073184
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 3 新横 浜 K S ビル 7 階
【氏名又は名称】	柳田 征史
【選任した代理人】	
【識別番号】	100090468
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 3 新横 浜 K S ビル 7 階
【氏名又は名称】	佐久間 剛

次頁無

特願 2 0 0 3 - 0 5 3 4 8 0

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 2 0 1]

1. 変更年月日
[変更理由]

1 9 9 0 年 8 月 1 4 日
新規登録

住 所
氏 名

神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地
富士写真フイルム株式会社